

「2020年3月期(第4回) 旅行市場動向調査」

一般社団法人 日本旅行業協会(JATA)では、JATA会員各社および中連協会各社へ調査モニターへの登録を依頼し、登録のあった637社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施しております。今回、3月期の調査がまとまりましたのでお知らせします。

《海外旅行DI》

DI値は3カ月前(10~12月)から-49ポイント低下しマイナス68。3カ月後(4~6月)は+5ポイント回復しマイナス63。6カ月後(7~9月)は現況より+30ポイント回復しマイナス38。

◆現況は、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、3カ月前(10~12月)から低下。方面別では中国、アジアの低下が大きく、その他の方面も低下した。

《国内旅行DI》

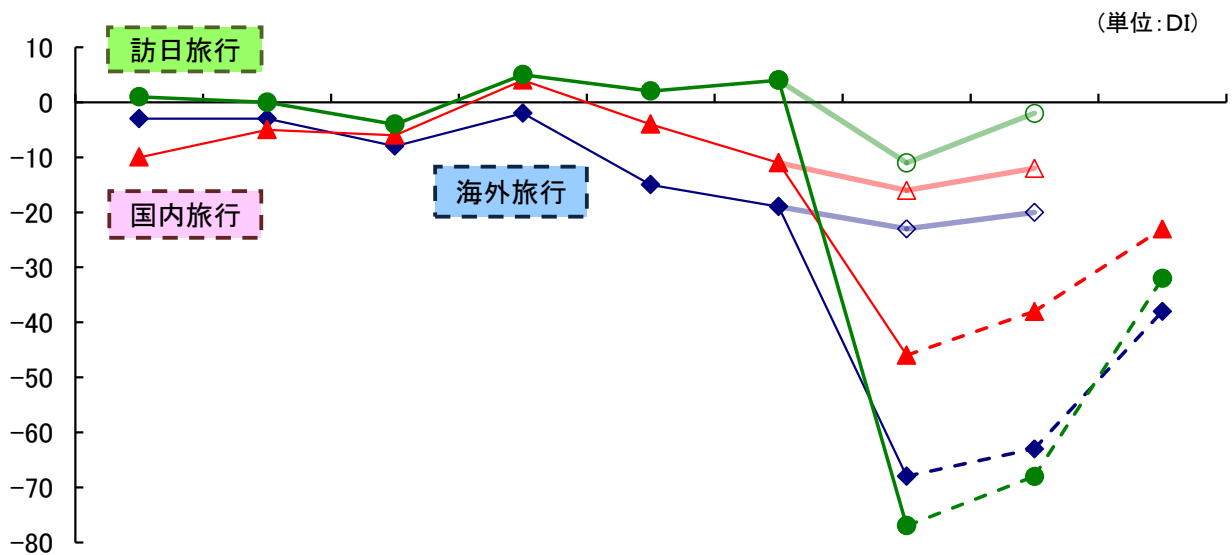
DI値は3カ月前(10~12月)より-35ポイント低下し、マイナス46。3カ月後(4~6月)は+8ポイント回復しマイナス38。6カ月後(7~9月)は現況より+23ポイント回復しマイナス23。

◆現況は、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、3カ月前(10~12月)から低下。全方面、全客層で低下した。

《訪日旅行DI》

DI値は3カ月前(10~12月)より-81ポイント低下し、マイナス77。3カ月後(4~6月)は、+9ポイント回復しマイナス68。6カ月後(7~9月)は現況より+45ポイント回復しマイナス32。

◆現況は、3カ月前(10~12月)のプラス圏からマイナス圏へと低下。新型コロナウイルス感染症の広がりにより、中国からの訪日客の低下が大きく、その他の国・地域も低下した。



	1年半前 (7~9月)	1年 3カ月前 (10~12月)	1年前 (1~3月)	9カ月前 (4~6月)	6カ月前 (7~9月)	3カ月前 (10~12月)	現況 (1~3月)	3カ月後 (4~6月)	6カ月後 (7~9月)
海外旅行全般	-3	-3	-8	-2	-15	-19	-68 ※-23	-63 ※-20	-38
国内旅行全般	-10	-5	-6	4	-4	-11	-46 ※-16	-38 ※-12	-23
訪日旅行全般	1	0	-4	5	2	4	-77 ※-11	-68 ※-2	-32

※2019年12月期調査見通し数値

■旅行市場動向調査について

一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）では、JATA会員および中連協会員各社へ調査モニターへの登録を依頼し、会員1411社中、登録のあった637社を対象として、四半期ごとに「旅行市場動向調査」を実施し、その結果を発表しております。

「旅行市場動向調査」は、現況・先行き（3ヵ月後・6ヵ月後）についてのアンケートを実施し、旅行市場の動向を把握することを目的としております。

調査では各質問事項に対し「良い」「普通」「悪い」「取り扱っていない」で評価を求め、回答数から「取り扱っていない」（無回答を含む）の回答を除いたものを母数として各回答のシェアを算出し、「良い」を選んだ割合（%）から「悪い」を選んだ割合（%）を引いて、「D I」（=Diffusion Index ディフュージョン・インデックス）という景気動向指数に加工して発表しています。D I 値の範囲は、全て良い（100）から、全て悪い（-100）の間の評価となります。

◆調査概要

調査地域	： 全国
調査対象	： J A T A 会員各社、中連協会員各社の経営者など
調査方法	： インターネット調査
調査期間	： 2020年2月3日（月）～2月21日（金）
設定数	： 637社
回収数	： 311社
回収率	： 48.8%

◆種別について

「旅行市場動向調査」では、各業況を種別に分析しています。
各種別の取り扱い業務範囲と今回調査での回答件数は下記の表の通りとなっています。

種別	取り扱い業務範囲	社数	比率
第一種旅行業	海外・国内の募集型・受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社実施の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	196社	63%
第二種旅行業	国内の募集型企画旅行の企画・実施、海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。	50社	16.1%
第三種旅行業	海外・国内の受注型企画旅行の企画・実施、海外旅行・国内旅行の手配、及び他社の募集型企画旅行の代売を行うことができる。また、実施する区域を限定し、旅行代金の支払い時期を制限したうえで国内の募集型企画旅行を行うことができる。	65社	20.9%

この資料についてのお問い合わせは、JATA広報室までお願いします。
なお、本データはJATAホームページ <http://www.jata-net.or.jp> でご覧になれます。
TEL : (03)3592-1244

■海外旅行全般／客数の業況について

現況は新型コロナウイルス感染症の広がりにより-49ポイントの低下。
影響は「中国」や「アジア」以外の方面にも見られ、各方面とも3カ月前を下回った。
6カ月後は回復傾向となる見込み。

総合

海外旅行全般の業況は、現況が3カ月前（10～12月）から-49ポイント低下し、マイナス68。3カ月後（4～6月）はマイナス63、6カ月後（7～9月）はマイナス38。
客数も同様に低下し、マイナス63。6カ月後（7～9月）も回復してくるものの、マイナス38。
種別の業況では「第1種」「第2種」「第3種」とも-40ポイント以上の低下となった。

現況は全ての方面で低下。団体旅行、個人旅行とも低下した。

海外旅行全般は3カ月前（10～12月）から-49ポイント低下し、マイナス68。

客数も3カ月前（10～12月）から-45ポイント低下し、マイナス63。

- ・新型コロナウイルスの影響は中国旅行のみならず、海外旅行全体、各方面に影響が出ている。（第1種）
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う罹患懸念による中止又は延期が広がりを見せている。（第1種）
- ・新型コロナウイルスによる手控えムードが大きく影響している。（第1種）

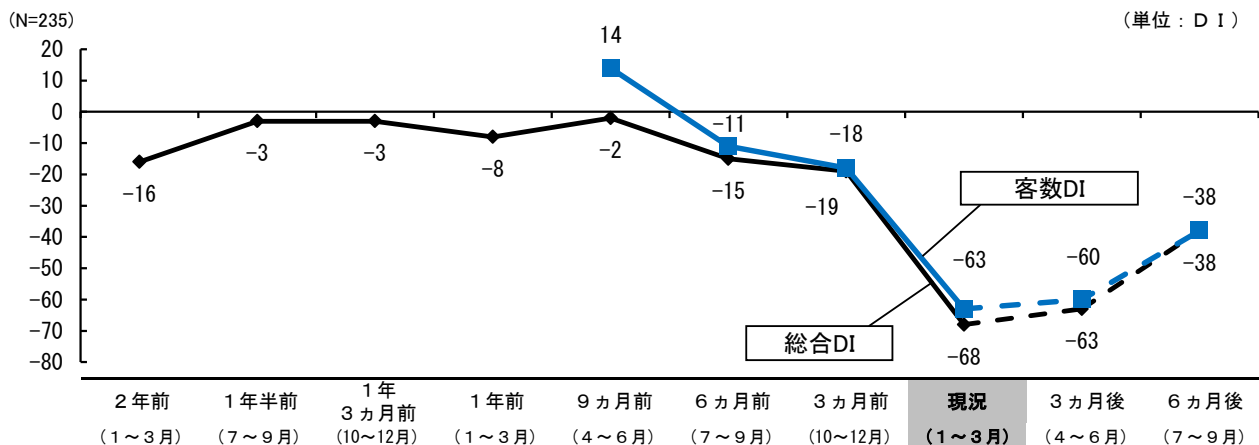
6カ月後（7～9月）は、現況より回復する見込み。

海外旅行全般の3カ月後（4～6月）は+5ポイント回復しマイナス63。6カ月後（7～9月）は現況から+30ポイント回復してマイナス38。

客数の3カ月後（4～6月）は+3ポイント回復しマイナス60。6カ月後（7～9月）は現況から+25ポイント回復してマイナス38。

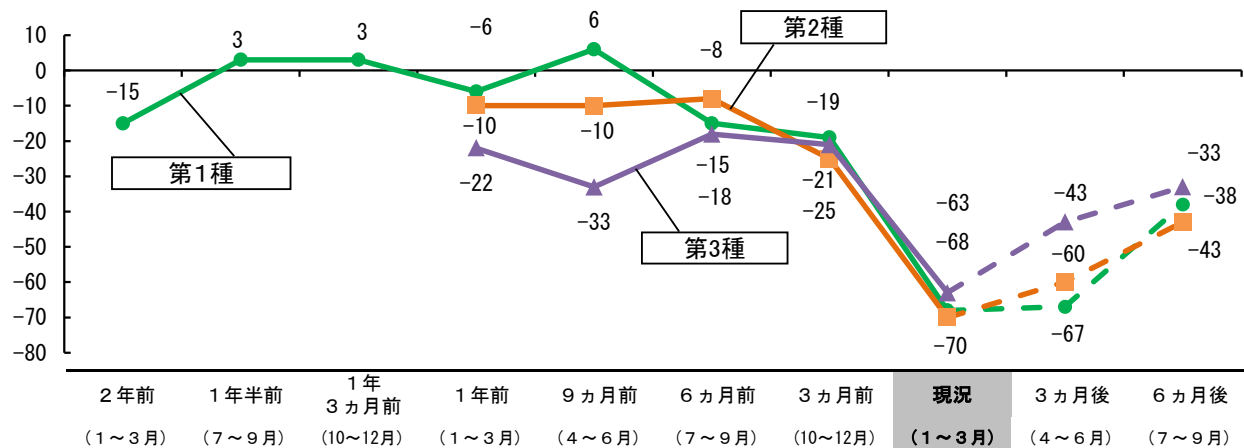
- ・新型コロナウイルスによって今後の状況が大きく変化するが、今年はオリンピックがある関係で7-9月の海外旅行が大幅に減少すると思われる。（第2種）
- ・新型コロナウイルスが終息するまで積極的な対応はできない状況。（第2種）
- ・新型コロナウイルスの影響は大きく、方面に関わらず手控え感がある。終息するまで厳しいのではないかと思う。（第1種）

海外DI値【総合+客数】



※「客数DI」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

種別総合DI値

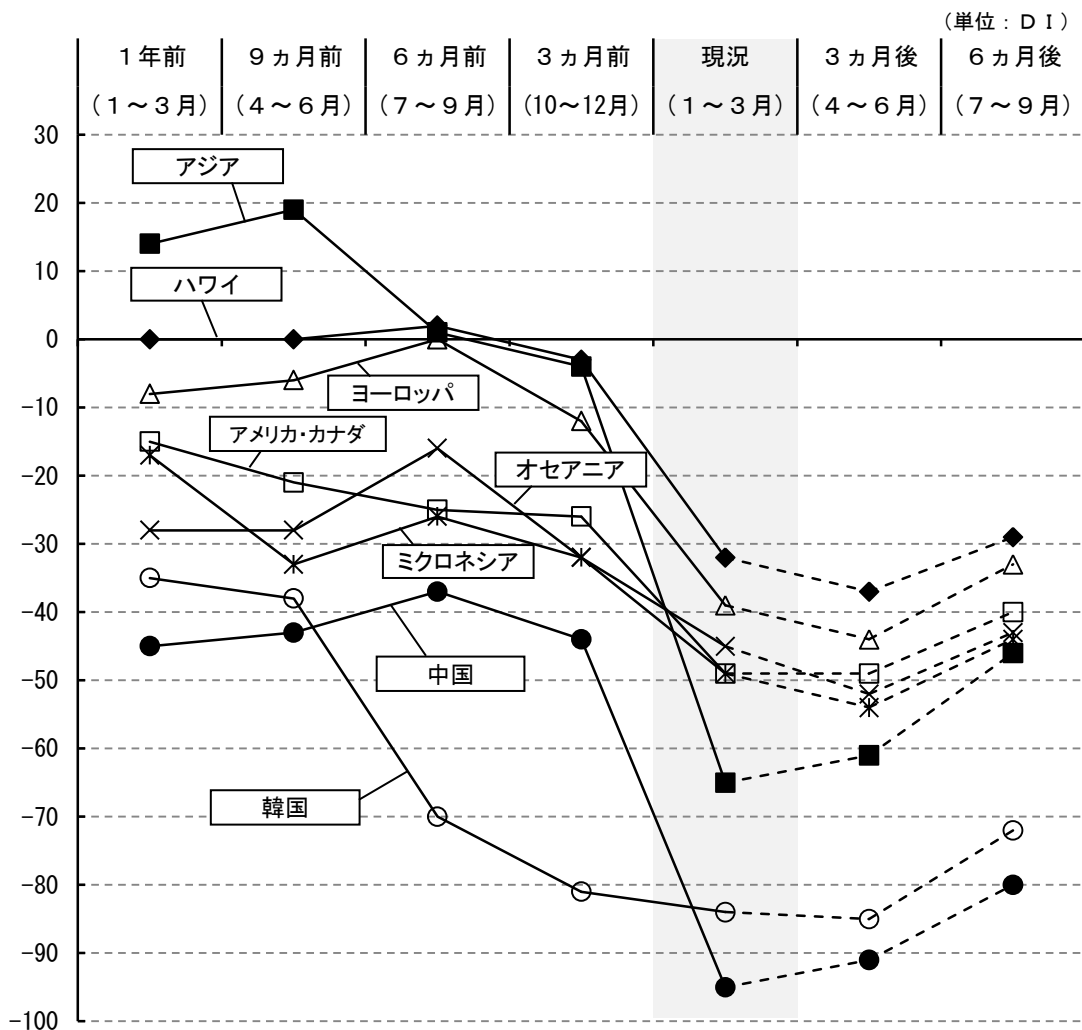


※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆海外旅行の需要動向（方面別）

- 3カ月前（10～12月）から全ての方面で低下した。特に「アジア」は-61ポイント、「中国」は-51ポイントの低下となった。
- 3カ月後（4～6月）は、「アメリカ・カナダ」「韓国」は横ばい、「アジア」「中国」は現況より回復する見込みだが、「ハワイ」「ヨーロッパ」「オセアニア」「ミクロネシア」では回復が遅れる見込み。

N:有効回答数
(N=235)



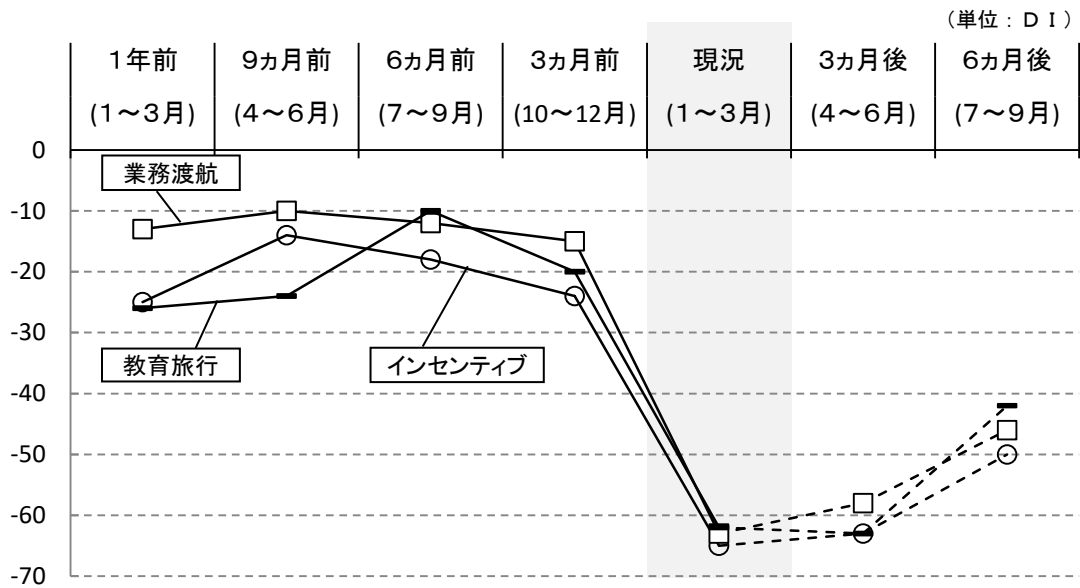
(単位：D I)

	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
ハワイ	0	0	2	-3	-32	-37	-29
アメリカ・カナダ	-15	-21	-25	-26	-49	-49	-40
ヨーロッパ	-8	-6	0	-12	-39	-44	-33
オセアニア	-28	-28	-16	-32	-45	-52	-43
ミクロネシア	-17	-33	-26	-32	-49	-54	-44
アジア	14	19	1	-4	-65	-61	-46
中国	-45	-43	-37	-44	-95	-91	-80
韓国	-35	-38	-70	-81	-84	-85	-72

◆海外旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は、3ヵ月前（10～12月）に比べていずれの需要も－40ポイント以上の低下となった。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は、「業務渡航」がやや回復の他は、ほぼ横ばいとなるが、6ヵ月後（7～9月）は回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=235)

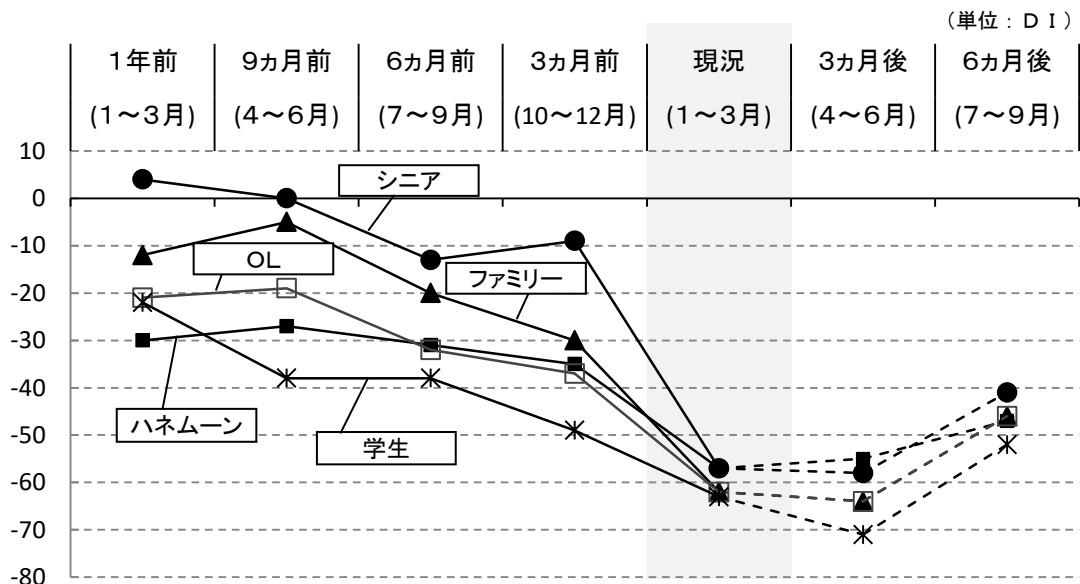


	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
インセンティブ	-25	-14	-18	-24	-65	-63	-50
業務渡航	-13	-10	-12	-15	-63	-58	-46
教育旅行	-26	-24	-10	-20	-62	-63	-42

◆海外旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は、3ヵ月前（10～12月）に比べていずれの需要も低下、特に「シニア」（－48ポイント）、「ファミリー」（－32ポイント）が低下した。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）はまだ回復傾向にないが、6ヵ月後（7～9月）は回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=235)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
ハネムーン	-30	-27	-31	-35	-57	-55	-47
ファミリー	-12	-5	-20	-30	-62	-64	-46
OL	-21	-19	-32	-37	-62	-64	-46
学生	-22	-38	-38	-49	-63	-71	-52
シニア (60歳以上)	4	0	-13	-9	-57	-58	-41

国内旅行全般の業況について

新型コロナウイルス感染症の広がりを受け、業況が低下。
6ヵ月後は回復傾向となる見込み。

総合

国内旅行全般の業況は、3ヵ月前（10～12月）から-35ポイント低下。3ヵ月後（4～6月）はマイナス38、6ヵ月後（7～9月）はマイナス23と回復傾向となる見込み。

客数についても低下。3ヵ月後（4～6月）、6ヵ月後（7～9月）は回復傾向となる見込み。

種別の業況では「第1種」（-36ポイント）、「第2種」（-38ポイント）、「第3種」（-30ポイント）とも低下した。

新型コロナウイルスの広がりにより、現況は全体的に低下。

国内旅行全般は3ヵ月前（10～12月）より-35ポイント低下し、マイナス46。客数はマイナス45。

- ・新型コロナウイルスの発生により、国内旅行全般的に減少傾向。（第1種）
- ・イベントの中止等、新型コロナウイルスの影響により減少。（第1種）
- ・小雪の影響で特に上越方面のスキー需要が悪化。（第1種）

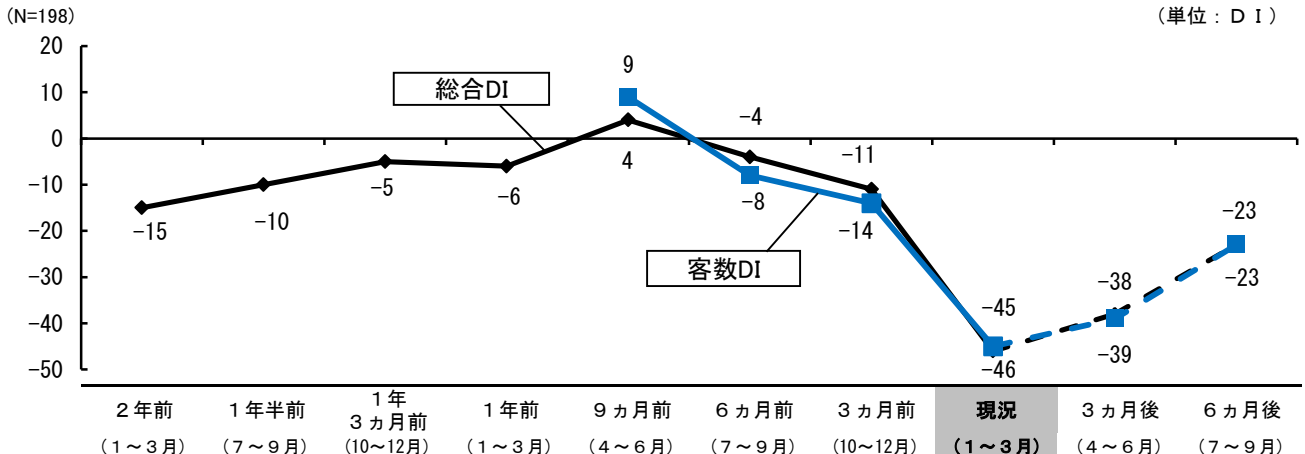
6ヵ月後（7～9月）は、現況より回復する見込み。

国内旅行全般の3ヵ月後（4～6月）は+8ポイント回復しマイナス38。6ヵ月後（7～9月）は現況から+23ポイント回復しマイナス23。

客数の3ヵ月後（4～6月）は+6ポイント回復しマイナス39。6ヵ月後（7～9月）は現況から+22ポイント回復しマイナス23。

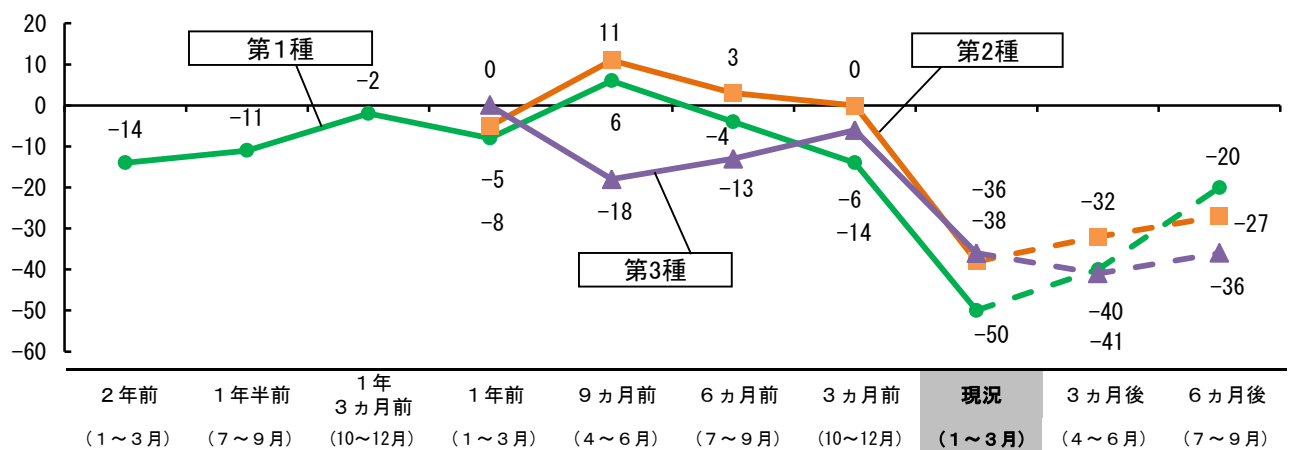
- ・好調の兆しだったが新型コロナウイルスの為に見通しが厳しくなった（第2種）
- ・新型コロナウイルスが終息すれば徐々に回復の軌道に乗ると期待している。（第1種）
- ・GW日並び影響で、全方面で昨年より予約数は減っている。（第1種）

国内DI値【総合+客数】



※「客数DI」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

種別総合DI値



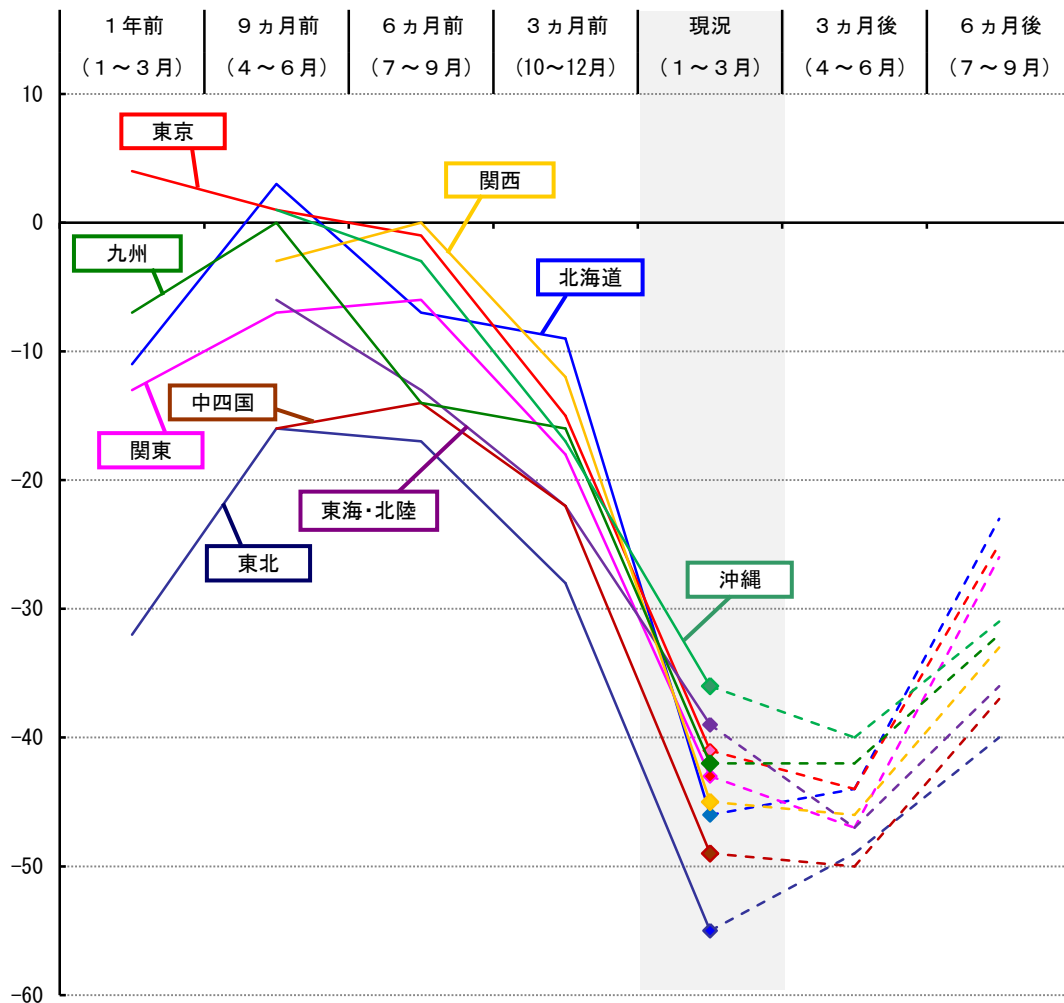
※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3カ月前（10～12月）に比べ、全ての方面で低下。
- ・ 3カ月後（4～6月）は「東北」（+6ポイント）「北海道」（+2ポイント）で回復が見られるが、その他方面は横ばいや低下の見込み。6カ月後（7～9月）は全体的に回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=198)

(単位：D I)



(単位：D I)

	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
北海道 ■	-11	3	-7	-9	-46	-44	-23
東北 ■	-32	-16	-17	-28	-55	-49	-40
関東 ■	-13	-7	-6	-18	-43	-47	-26
東京(TDRを含む) ■	4	1	-1	-15	-41	-44	-25
東海・北陸 ■	-	-6	-13	-22	-39	-47	-36
関西 ■	-	-3	0	-12	-45	-46	-33
中四国 ■	-	-16	-14	-22	-49	-50	-37
九州 ■	-7	0	-14	-16	-42	-42	-32
沖縄 ■	-	1	-3	-17	-36	-40	-31

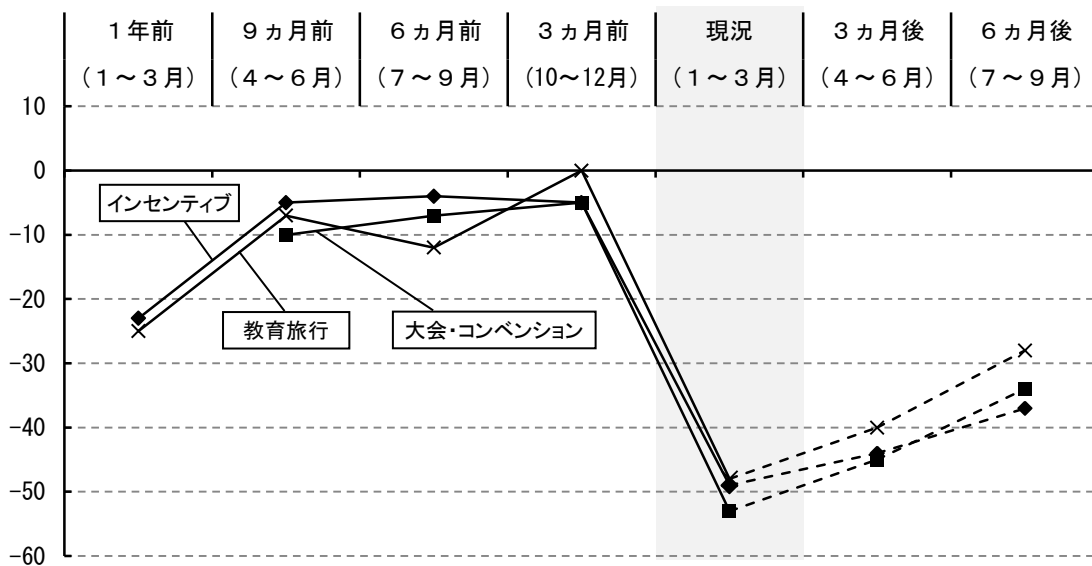
※「東海・北陸」「関西」「中四国」「沖縄」は、2019年6月調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（団体旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ、「大会・コンベンション」「教育旅行」が-48ポイント、「インセンティブ」が-44ポイントと低下した。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）以降は回復傾向となる見込み。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=198)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
インセンティブ	-23	-5	-4	-5	-49	-44	-37
大会・コンベンション	-	-10	-7	-5	-53	-45	-34
教育旅行	-25	-7	-12	0	-48	-40	-28

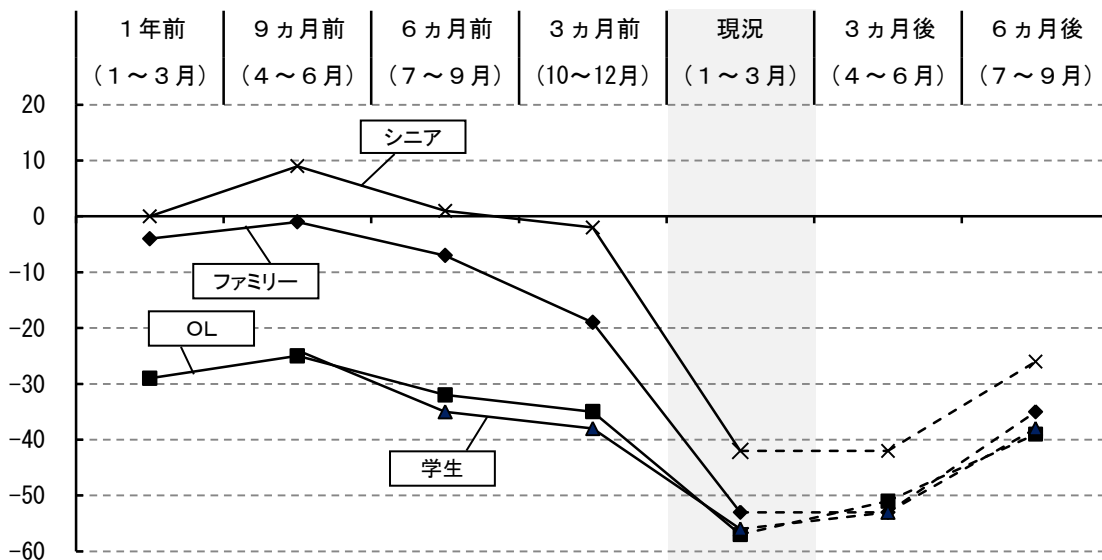
※「大会・コンベンション」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

◆国内旅行の需要動向（個人旅行）

- ・ 現況は3ヵ月前（10～12月）に比べ、個人旅行全般で低下した。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は、微増や横ばいだが、6ヵ月後（7～9月）は回復傾向となる見込み。

（単位：D I）

N:有効回答数
(N=198)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
ファミリー	-4	-1	-7	-19	-53	-53	-35
OL	-29	-25	-32	-35	-57	-51	-39
学生	-	-24	-35	-38	-56	-53	-38
シニア (60歳以上)	0	9	1	-2	-42	-42	-26

※「学生」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

■訪日旅行全般の業況について

新型コロナウイルス感染症の広がりにより現況は低下。6ヵ月後は回復傾向となる見込み。出身国別で見ると、「中国」が-88ポイントの低下。

総合

訪日旅行全般の業況は、新型コロナウイルス感染症の広がりにより、3ヵ月前（10～12月）から-81ポイント低下してマイナス77、客数も-85ポイント低下のマイナス78。
種別の業況では、「第1種」が-80ポイントのマイナス71、「第2種」が-89ポイントのマイナス70、「第3種」は-75ポイントのマイナス91といずれも低下。

現況は新型コロナウイルス感染症の広がりにより低下。

訪日旅行全般は3ヵ月前（10～12月）より-81ポイント低下し、マイナス77。
客数も-85ポイント低下し、マイナス78。

- ・1月末以降中国人観光客を中心に激減。（第1種）
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い中国本土と地方空港路線が運休となり、受入が出来ない状況となっている。（第1種）
- ・中国からのインバウンドが主だが、新型コロナウイルスの影響で全くなくなってしまった。（第1種）

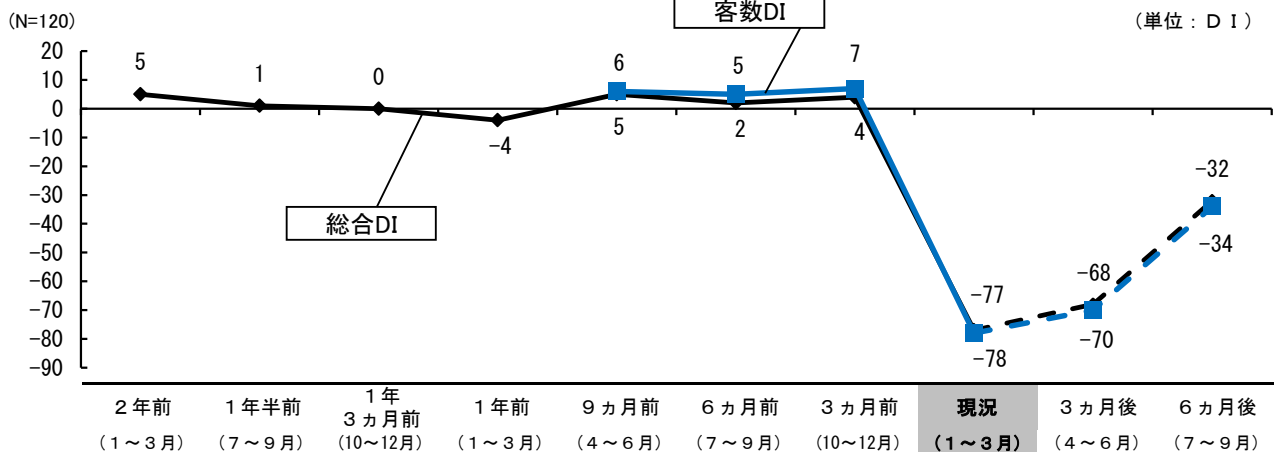
6ヵ月後（7～9月）は現況より回復する見込み。

訪日旅行全般の3ヵ月後（4～6月）は、+9ポイント回復してマイナス68。6ヵ月後（7～9月）は現況から+45ポイント回復してマイナス32。

客数の3ヵ月後（4～6月）は+8ポイント回復しマイナス70。6ヵ月後（7～9月）は現況から+44ポイント回復しマイナス34。

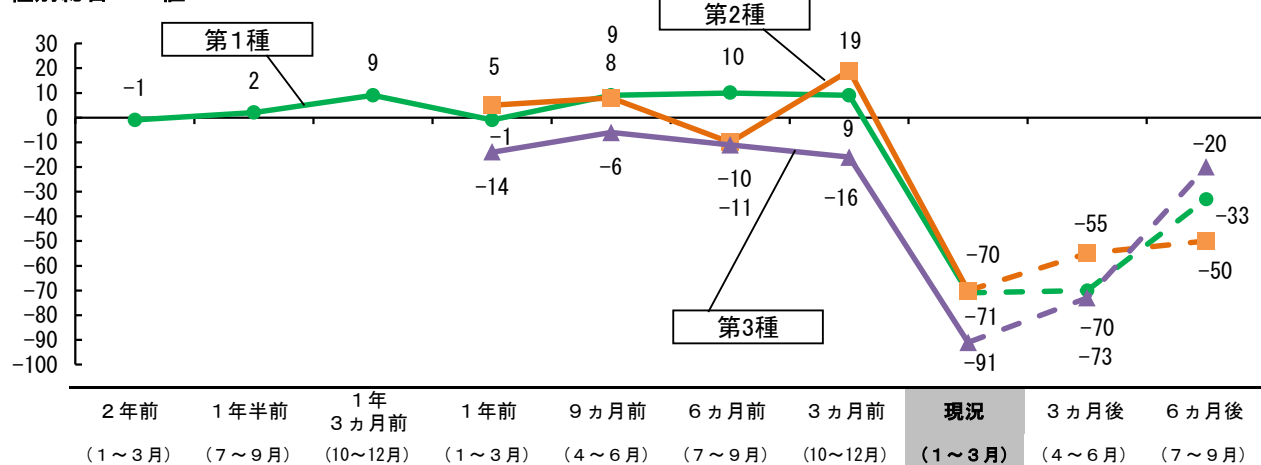
- ・新型コロナウイルスの影響が長引くことによる様々な影響がでることを懸念している。（第1種）
- ・新型コロナウイルスが収束しないかぎり、訪日旅行にかなり影響がでると思われる。（第3種）
- ・新型コロナウイルスの状況が落ち着かない限り、先行きは不透明。（第1種）

訪日DI値【総合+客数】



※「客数DI」は、2019年6月調査から聴取したため、以前のデータなし

種別総合DI値

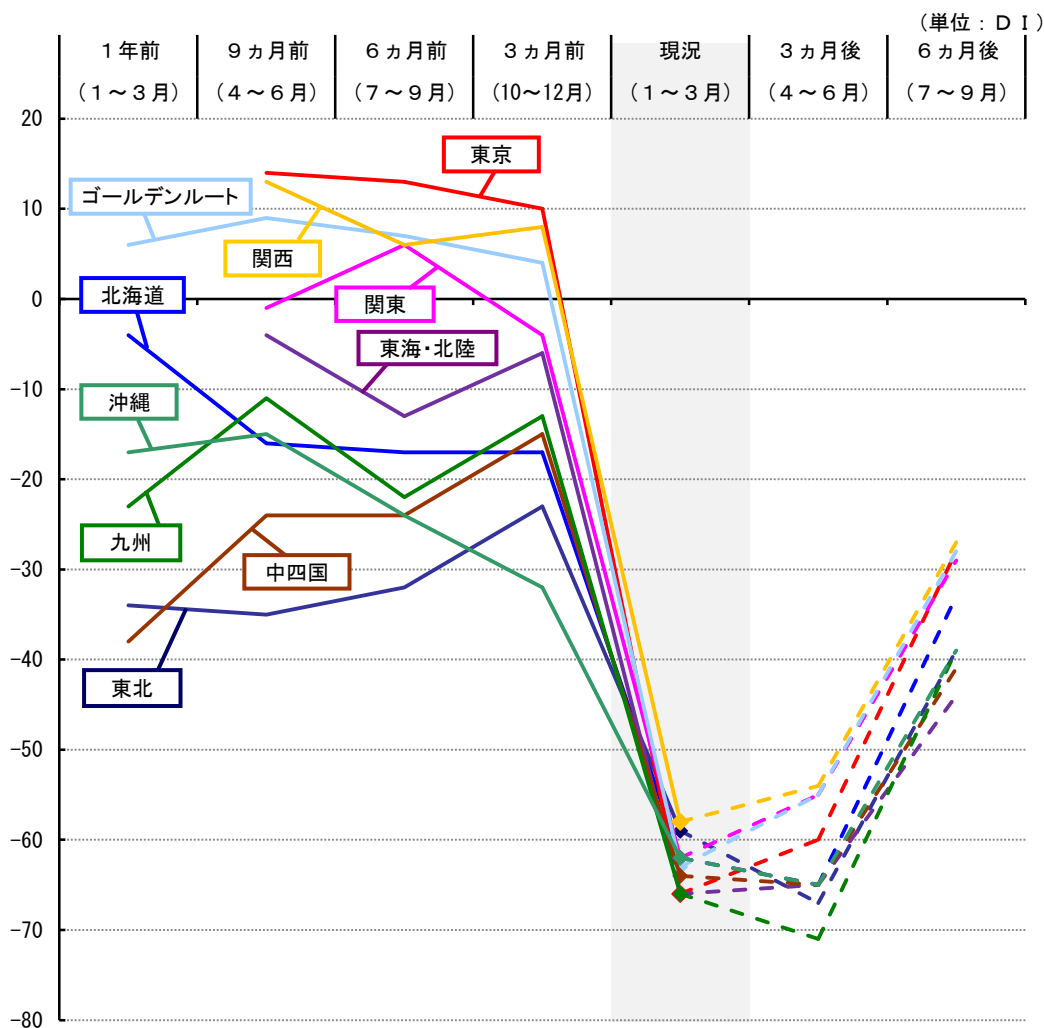


※「第2種」「第3種」は、2019年3月調査から分計したため、以前のデータなし

◆訪日旅行の需要動向（方面別）

- ・ 現況は3カ月前（10～12月）に比べて全方面で低下。好調だった「東京（TDR含む）」も－76ポイント低下してマイナス66。
- ・ 3カ月後（4～6月）は「ゴールデンルート」（＋8ポイント）、「関東」（＋7ポイント）、「東京（TDR含む）」（＋6ポイント）など回復傾向となる方面もあり、6カ月後（7～9月）は全方面で回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=120)



(単位：D I)

	1年前 (1～3月)	9カ月前 (4～6月)	6カ月前 (7～9月)	3カ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3カ月後 (4～6月)	6カ月後 (7～9月)
北海道 ■	-4	-16	-17	-17	-62	-65	-33
東北 ■	-34	-35	-32	-23	-59	-67	-39
関東 ■	-	-1	6	-4	-62	-55	-29
東京(TDR含む) ■	-	14	13	10	-66	-60	-28
東海・北陸 ■	-	-4	-13	-6	-66	-65	-44
関西 ■	-	13	6	8	-58	-54	-27
中四国 ■	-38	-24	-24	-15	-64	-65	-41
九州 ■	-23	-11	-22	-13	-66	-71	-39
沖縄 ■	-17	-15	-24	-32	-62	-65	-39
ゴールデンルート(関東⇄関西) ■	6	9	7	4	-63	-55	-28

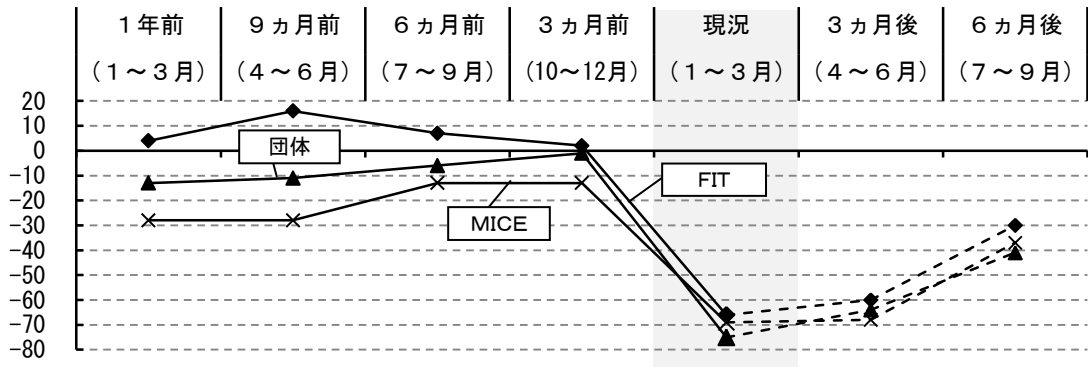
※「関東」「東京(TDR含む)」「東海・北陸」「関西」は、2019年6月調査で聴取方法を変更したため、以前のデータなし

◆訪日旅行の需要動向（顧客層別）

- ・ 現況は、全ての客層で低下。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は「団体」（+11ポイント）「FIT」（+6ポイント）で回復。6ヵ月後（7～9月）は全ての客層で回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=120)

(単位:DI)



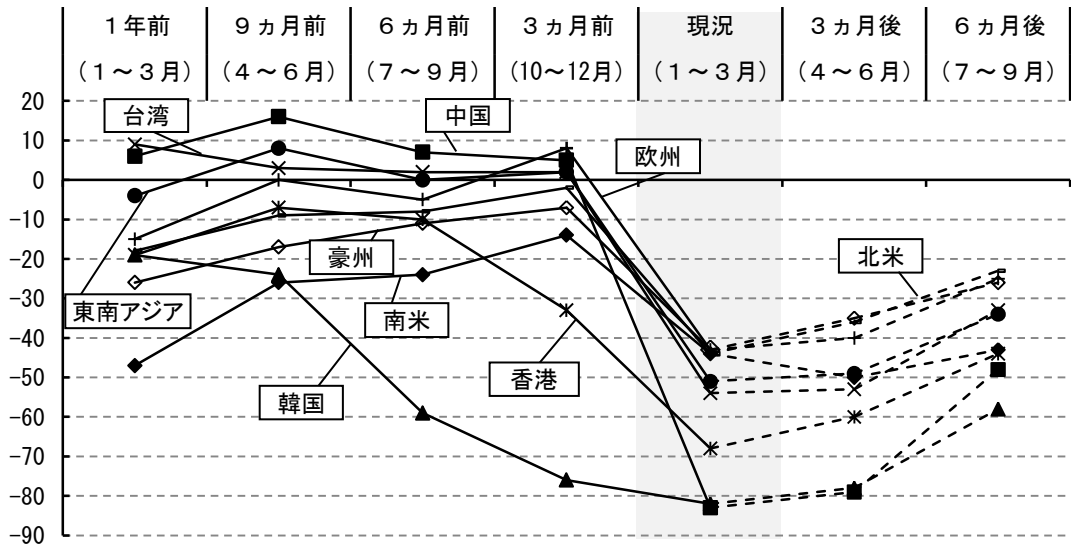
	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
FIT	4	16	7	2	-66	-60	-30
団体	-13	-11	-6	-1	-75	-64	-41
MICE	-28	-28	-13	-13	-69	-68	-37

◆訪日旅行の需要動向（国・地域別）

- ・ 現況は「韓国」を除く各方面で3ヵ月前（10～12月）から低下。
- ・ 3ヵ月後（4～6月）は「南米」（-6ポイント）以外は横ばいかやや回復。6ヵ月後（7～9月）は「中国」（+35ポイント）をはじめ、全方面で回復傾向となる見込み。

N:有効回答数
(N=120)

(単位:DI)



	1年前 (1～3月)	9ヵ月前 (4～6月)	6ヵ月前 (7～9月)	3ヵ月前 (10～12月)	現況 (1～3月)	3ヵ月後 (4～6月)	6ヵ月後 (7～9月)
中国	6	16	7	5	-83	-79	-48
韓国	-19	-24	-59	-76	-82	-78	-58
台湾	9	3	2	2	-54	-53	-33
香港	-19	-7	-10	-33	-68	-60	-44
東南アジア	-4	8	0	2	-51	-49	-34
欧州	-15	0	-5	8	-43	-40	-25
北米	-18	-9	-8	-2	-44	-36	-23
南米	-47	-26	-24	-14	-44	-50	-43
豪州	-26	-17	-11	-7	-43	-35	-26